

スマート エスイー IoT / AI 石川スクール
～経営者のための IoT/AI 総合力向上セミナー～

DXの本質と必要性および重要性

2026年5月18日

株式会社 アイ・コネクト

自己紹介

氏 名：大久保 賢二（おおくぼ けんじ）

現 職：株式会社 アイ・コネクト 代表取締役

NPO法人 ITコーディネータ茨城 理事長

茨城県産業技術イノベーション研究会 顧問

職 歴：2023.01-2023.10 茨城県リスキリング協議会 IT人材ワーキング 座長

2020.04-2022.03 情報処理推進機構 製造分野向けDX推進検討委員

事業内容：企業コンサルティング、DX事業企画運営、デジタル・DX人材育成事業企画運営

DX実績：茨城県 DX推進事業、経済産業省 地域DX支援事業(ITC協会ーITC茨城・ITC長野)

山形県 DX推進事業、福井県「シン・ものづくり企業」のためのデジタル変革応援事業

沖縄県 DX推進事業、石川県 DX推進計画策定支援事業、

企業コンサルティング（DX推進計画策定、DXプロジェクト遂行、DX認定申請支援）

経 歴：1987年 茨城日立情報サービス(現 日立産業制御ソリューションズ)入社、

製造業向けの生産管理システム導入に従事

2003年 中小企業様のコンサルティング活動開始(ITコーディネータ取得)、

経営戦略策定、生産管理業務改善、IT化支援に従事

2016年4月 アイ・コネクト創業

2019年5月 ITコーディネータ茨城 理事長



定義

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、**データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること**

**競争上の優位性を
確立する**

価格の決定権がある
頼まれる立場になる

=

**顧客や社会の
ニーズを基にする**

潜在ニーズや
今後のニーズを基にする

×

**データとデジタル
技術を活用する**

デジタル技術で仕組み化
データで仕掛けを作る

デジタル化で業務の無駄を省いて残業時間を削減した
販売予測で在庫が適正化するAIシステムを導入した

**将来を先読みしたサービスを実現するために
様々なデータを活用して新たなビジネスモデルを構築した**

DXを実践する2つのポイント

新たなビジネスモデルの考え方

競争力のあるビジネスを創りたい！

新たな事業を創出したい！

今までの事業価値を変えたい！

ビジネスモデル原石の見つけ方

ビジネスモデルを実現する方法

人や時間に頼りたくない！

今までの常識にとらわれたくない！

当社のノウハウを活かしたい！

ビジネス戦術の作り方

デジタルトランスフォーメーション

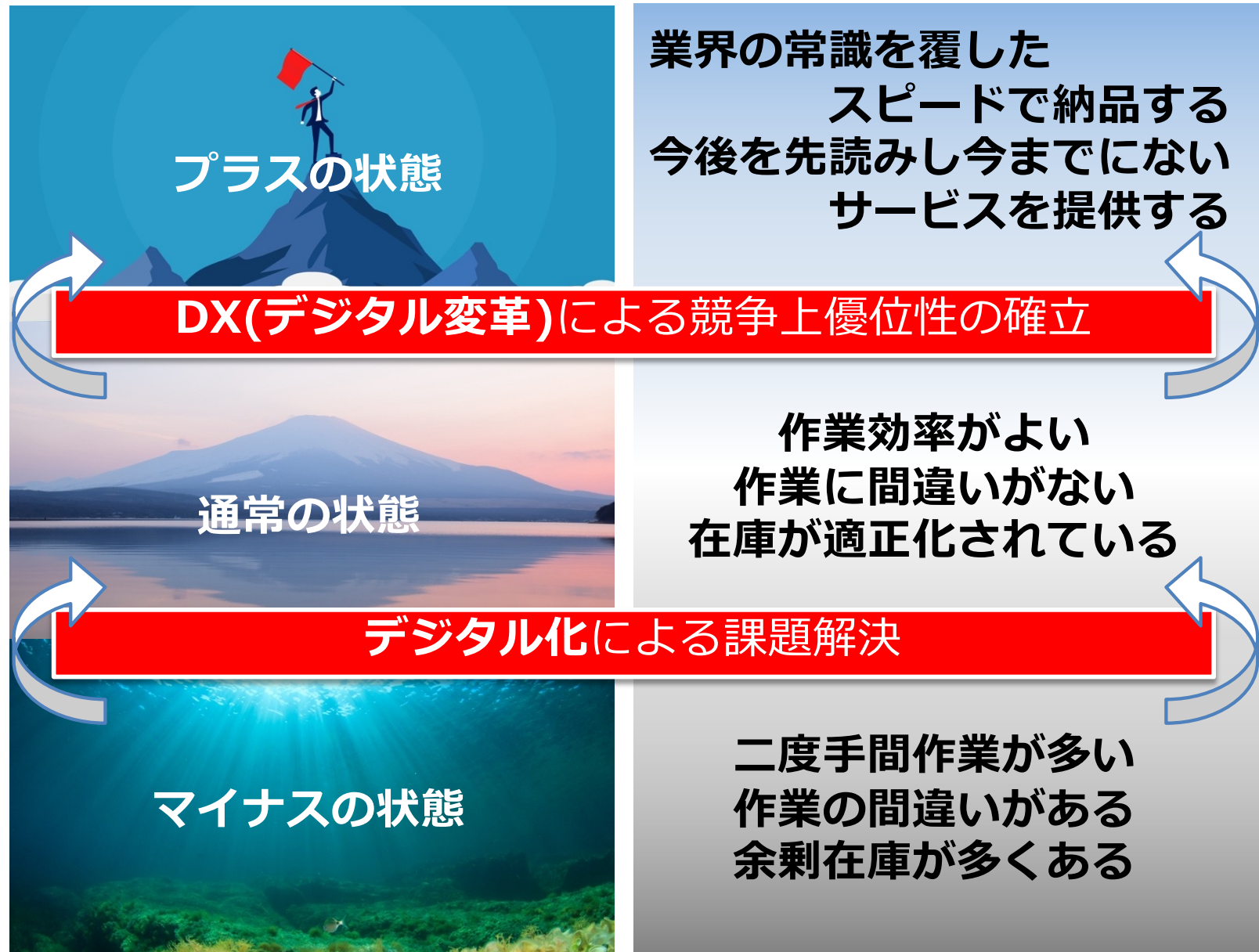
DX (Digital Transformation)

デジタル変革

これらはすべて同じ意味です

デジタル変革 ≠ デジタル化

DXとは(デジタル変革とデジタル化の違い)



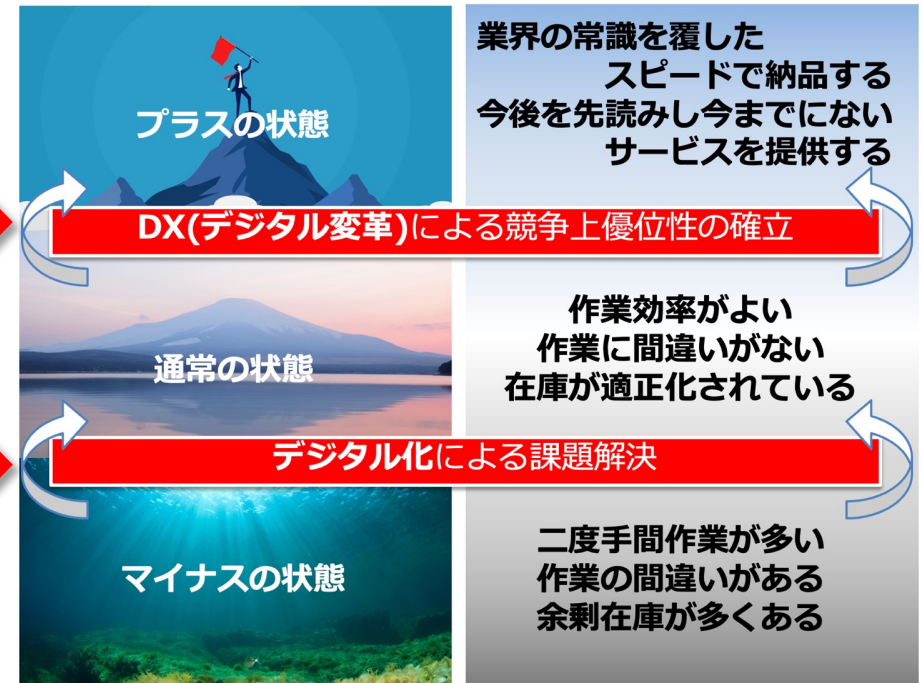
DXとは(デジタル変革とデジタル化の違い)

■ DX(デジタル変革) とは

- ・ 目的：競争上優位性の確立
- ・ 取組み方：目標達成型アプローチ

■ デジタル化 とは

- ・ 目的：課題解決
- ・ 取組み方：課題解決型アプローチ



『デジタル化』を実施していても『DX』は実現しない
しかし
『デジタル化』からやらなければ『DX』は実現しない

『DX』を理解し目指して『デジタル化』から実施する

DX推進計画書

No.	DX推進計画書の目次	内容
1	経営理念、ミッション確認	メンバー全員で経営理念、ミッション・ビジョンを再確認し企業のDX推進計画のゴールおよび企業存在意義を理解する
2	DX構想(目指す姿)の検討	DXによる目指す姿を検討する(事業ドメイン分析等を使用)顧客視点であり、競争上優位性を確立できるを確認する
3	DX構想の裏付け	市場調査・顧客ヒアリングをもとに定量的な確認をするただし、不明確な部分があってもよい
4	目標値の設定	KPI・KGIを設定する 短期的と中長期的な目標値を設定する
5	DXシステム構成検討	デジタルツールによるシステム構成についての検討する デジタル技術やどのようなデータを活用するかを検討する
6	現状分析	DX構想(目指す姿)と現状のギャップを抽出する 業務面、システム、体制、企業文化などの視点で抽出する
7	実施項目の決定	抽出したギャップをもとに実施項目を決定する 優先順位をつけ、短期的と中長期的に分ける
8	スケジュール検討	短期的なスケジュールについては週単位で決定する 中長期的なスケジュールは半年単位で決定する
9	体制検討	短期的スケジュールには個人名を指定する DX部門の新設や外部支援者の活用も検討する

DX推進計画書

No.	DX推進計画書の目次
1	経営理念、ミッション確認
2	DX構想(目指す姿)の検討
3	DX構想の裏付け
4	目標値の設定
5	DXシステム構成検討
6	現状分析
7	実施項目の決定
8	スケジュール検討
9	体制検討



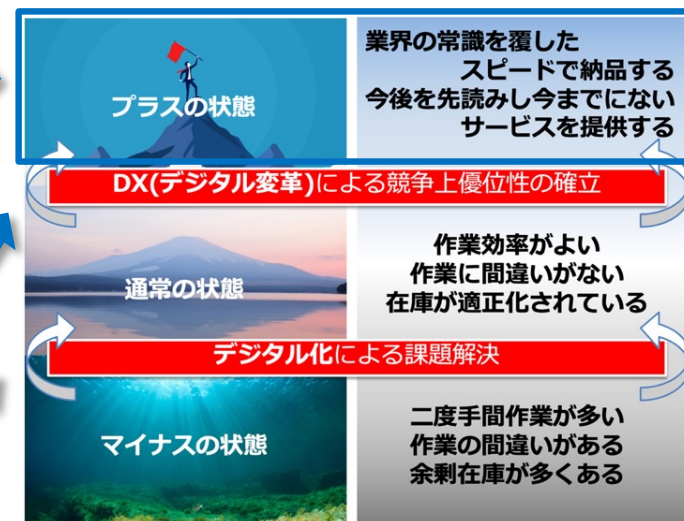
DX推進計画書を8回で作成する

企業の存在意義を改めて確認する
(1回)

将来のDX実践後の姿を想像する
(3回)

DXを推進する前に実施することを検討する
(3回)

社内全員でDX推進計画を共有する
(1回)



DX実践までの4つのステージ

【4つのステージ】

【企業の状況】

4:DXを実践している

競争上優位性があるビジネスを展開中であり増収・増益の状況



3:DX推進計画を進めている

DX実践に向けた仕組みを作成中
デジタル化による課題解決実践中



2:DX推進計画を立てた

DX実践後の姿を想像できている
DX推進する計画が作成できた



1:DXを正しく理解した

DXを正しく理解している
DXの進め方を理解している



0:DXを理解していない

DXを業務効率向上やデジタル導入
することと誤って理解している



DX実践企業が存在する地域の仮説

DXを実践している企業：競争上優位性を確立した企業

- 既存顧客に新たな価値を提供、新規事業や新たな顧客を開拓
 - 売上拡大や利益拡大が実現
 - 雇用創出や税収増加が見込める
- 新たな価値創出やビジネス変革を成功した
 - 地域における先進的なモデル企業
 - 価値創出やビジネス変革を目指す企業が増える

**DXを実践する企業が多く存在する地域は
地域経済が発展する**

スマート エスイー IoT / AI 石川スクール
～経営者のための IoT/AI 総合力向上セミナー～

DXの本質と必要性および重要性

2026年5月18日
株式会社 アイ・コネクト

本資料を許可なく複写・転載等を禁じます。